SONY

3-097-313-**03**(1)

マリンパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MPK-WB

© 2007 Sony Corporation　Printed in Japan

http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する**

変な音やにおいがしたら、煙が出たら

❶ **電源を切る**

❷ **ソニーの相談窓口に相談する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号

禁止

行為を指示する記号

注意

⚠警告　**下記の注意事項を守らないと、事故により死亡や大けがの原因となります。**

潜水中の使用は周囲の状況を把握し、安全に充分注意を払う
注意を怠ると、潜水事故の原因となります。

注意

万一、マリンパックに水漏れが発生した場合
あわてず身体に影響がないように、浮上時の減圧時間を守り、周囲の状況に注意しながら浮上してください。

注意

⚠注意　**下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。**

衝撃を与えない
ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。

禁止

主な特長

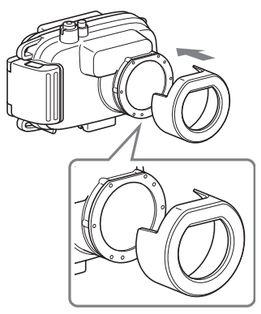
- 本機はソニーのデジタルスチルカメラDSC-W200/W90/W85/W80専用のマリンパックです。（対象のサイバーショットはすべての国または地域で取り扱いをしているわけではありません。）
- お手持ちのデジタルスチルカメラに本機を取り付けると、雨天時や海辺（水中では水深40m以内）また雪や雨などの悪天候時での撮影ができます。

Oリングのはずれやはさみ込み、ゴミの付着などがあると、水中で水漏れがおきます。
必ず確認したあとに、ご使用ください。
詳しくは、Oリングメンテナンスマニュアルをお読みください。

取り扱い上の注意

- 本体の前にあるガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上でのマリンパックの開閉はできるだけ避けてください。デジタルスチルカメラの取り付けや“メモリースティック デュオ”交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- マリンパックを水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
  - 高温多湿な場所
  - 40℃を越える温水の中
  - 0℃以下の場所

  結露、水漏れ、デジタルスチルカメラの故障の原因になります。
- 周囲温度が35℃を超えるときのご使用は、連続30分以内にしてください。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- マリンパックに長時間収納して使用していると、デジタルスチルカメラが熱くなります。日陰などの涼しい場所にしばらく放置してから、デジタルスチルカメラを本機から取り出してください。
- 万一、フロントプロテクターがはずれた場合は、図のように向きをあわせしっかりと押し込むようにして取り付けてください。



マリンパックにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、マリンパック表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。

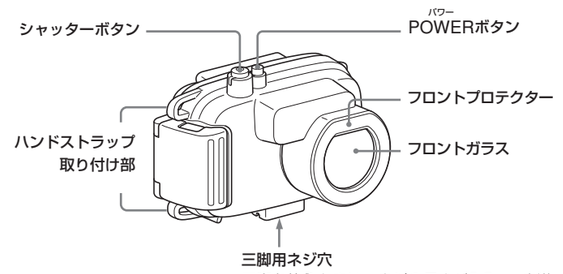
水漏れについて

万一マリンパック内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。
デジタルスチルカメラがぬれた場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

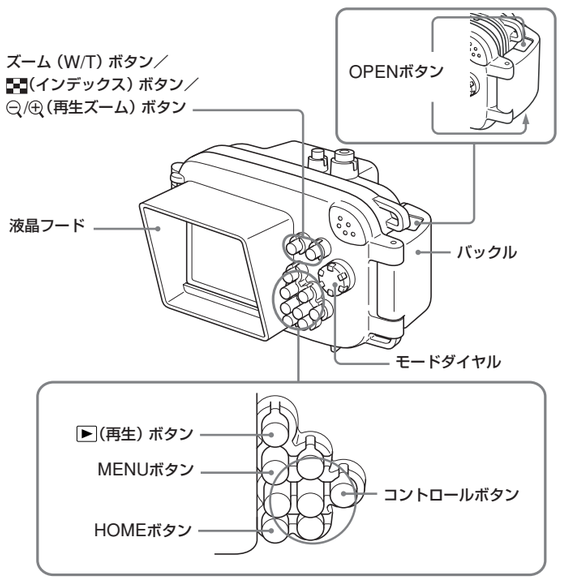
フロントガラスのくもり止め効果について

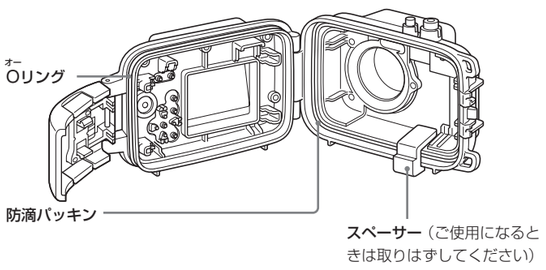
マリンパック前部のガラス面は、くもり止めの効果がある構造になっています。ただし、デジタルスチルカメラの取り付けは湿気の少ない室内などで行ってください。

各部の名前



三脚用ネジ穴
三脚を使うときは、ネジの長さが5.5mm未満のものをお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。





お使いになる前に必ずお読みください

- 実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、デジタルスチルカメラが正常に作動するか、またマリンパックに水漏れがないかを確認してから、潜水を開始してください。
- 万一マリンパックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（デジタルスチルカメラ、バッテリーなど）の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。

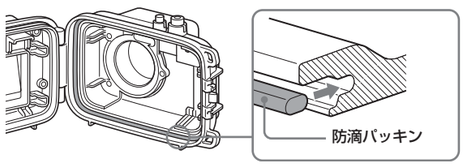
Oリング／防滴パッキンについて

Oリングについて

本機はOリング（オーリング）を使用して防水性を保っています。詳しくは、別冊のOリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。
Oリングの取り扱いかたが不適切だと水漏れの原因になります。

防滴パッキンについて

防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗らないでください。防滴パッキンの浮き、はさみ込みは水漏れの原因となります。
万一、防滴パッキンがはずれた場合は、ねじれないように注意して取り付けてください。



Oリングと防滴パッキンの耐用年数

Oリング
マリンパックの使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。

防滴パッキン
防滴パッキンに傷・ヒビが見つかったら交換してください。

交換後に、水漏れしないことを確認してください。

グリスについて

グリスは付属の青いチューブのグリスをお使いください。黄色いチューブのグリスや他社のグリスを使うと、Oリングを傷め、水漏れします。

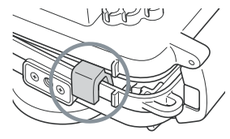
お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30 分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- マリンパック内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。

上記のお手入れはマリンパックにご使用のたびに必ず行ってください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは

- Oリングの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。



- Oリングにホコリがつかないようにしてください。
- Oリングにグリスを薄く塗って溝に入れ、風通しのよい涼しいところに保管してください。バックルは締めないでください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社ではマリンパックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
●型名：MPK-WB
●故障の状態：できるだけ詳しく
●お買い上げ日

Oリング、防滴パッキン、グリスについて

ご購入はソニーの相談窓口にご相談ください。
ご購入されるときは、品名、番号をご連絡ください。
Oリング（番号3-080-065-11）
防滴パッキン（番号3-099-284-01）
グリス（番号2-582-620-01）

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「401」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00
ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

準備

Oリングと防滴パッキンの準備

1 Oリングを取りはずす。

2 Oリングにグリスを塗る。

Oリング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、Oリングに薄く均一にグリスを塗る。

3 防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。

4 Oリングを取り付ける。

ご注意

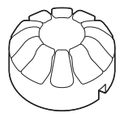
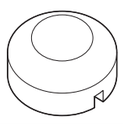
- 防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗らないでください。
- 砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体に傷をつけたり、水漏れの原因となることがあります。

別冊のOリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。Oリングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

モードダイヤルキャップの準備

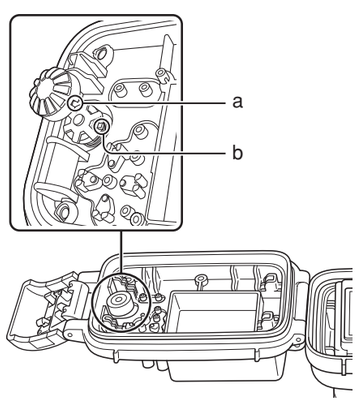
1 モードダイヤルキャップを選ぶ

お手持ちのデジタルスチルカメラの機種に合わせて、下表から選んでください。

DSC-W200	A 
DSC-W90/W85/W80	B 

2 モードダイヤルキャップを取り付ける

モードダイヤルキャップの切欠き部分（a）とマリンパック内部のモードダイヤルの凸部（b）を合わせて、しっかりと押し込んで取り付けてください。



取り付け後、モードダイヤルが正常に動くことを確認してください。

デジタルスチルカメラの準備

デジタルスチルカメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所でのマリンパックの開閉は、マリンパック前部のくもりの原因となります。

以下の手順は、DSC-W90を使用して説明しています。
詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

1 デジタルスチルカメラのストラップをはずす。

2 バッテリー、“メモリースティック デュオ”を入れる。

充分に充電してあるバッテリーを入れてください。

3 POWERボタンを押して電源を入れ、液晶画面を「ON」にする。

4 各設定を「📷」（オート撮影）にする。

5 AFイルミネーターを「切」にする。

AFイルミネーターは使用できません。

6 レンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。

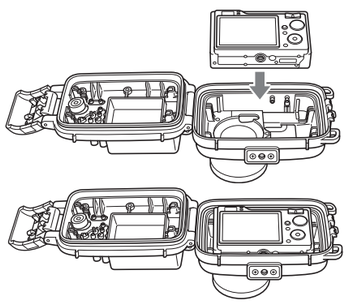
デジタルスチルカメラをマリンパックに取り付ける

1 デジタルスチルカメラのPOWERボタンで電源「OFF」にする。

2 デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「📷」にする。

3 マリンパックにデジタルスチルカメラを取り付ける。

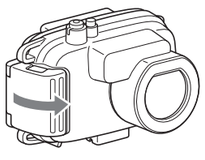
デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままではデジタルスチルカメラのレンズを傷つけることがあります。



デジタルスチルカメラが正しく入っているか確認してください。

4 ボディーを閉じて、バックルを締める。

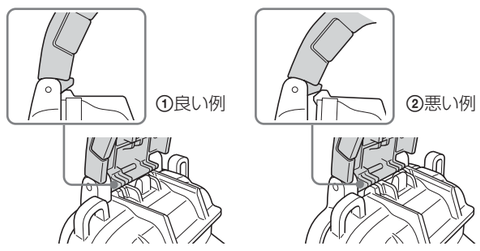
ボディーをしっかり押さえ、バックルがカチッと上下2箇所がロックされるまで押してください。



ご注意

マリンパックのボディーを閉じるとき、Oリングの表面とマリンパックの溝に、ゴミや砂、毛髪などがついていないことを確かめてください。上記のような異物をはさみ込むと、水漏れの原因となることがあります。

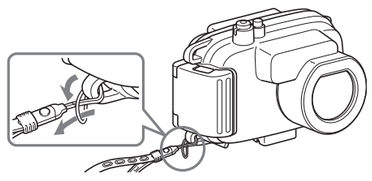
ボディーを閉じるときのバックルの位置



②の状態でバックルを締めると引っかかり、ロックできません。

ハンドストラップを取り付ける

ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。



ご注意

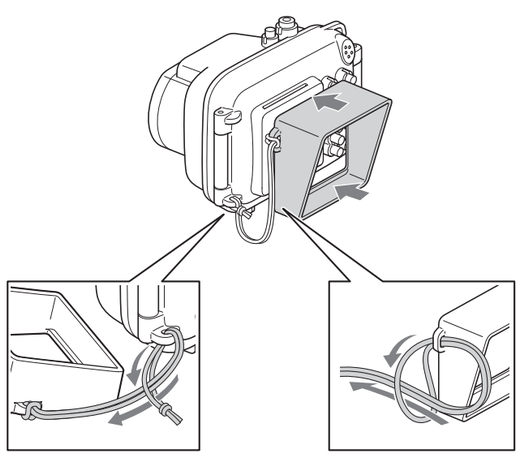
マリンパックのボディー閉じるときに、ハンドストラップのはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

液晶フードの取り付け、取りはずしかた

取り付けかた

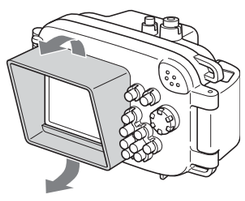
1 付属の脱落防止ひもを取り付けてください。

2 図のように液晶フード取り付け用のガイド凹部にあわせて強く押し込みます。



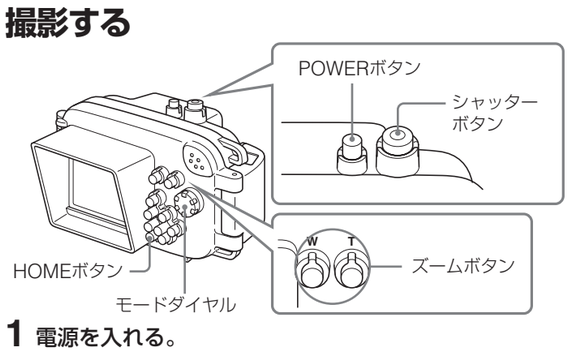
取りはずしかた

液晶フードを外に広げるようにして、ガイドから取りはずします。

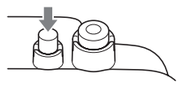


マリンパックを使う

撮影する



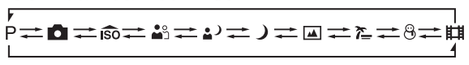
1 電源を入れる。



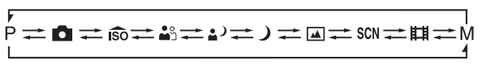
モードダイヤルが正常に動くことを確認してください。

モードダイヤルを回すと、次の順にモードが切り換わります。

DSC-W90/W85/W80をお使いのかた



DSC-W200をお使いのかた



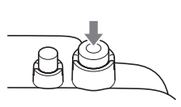
各モードについては液晶画面で確認してください。

2 モードダイヤルを希望のモードに合わせる。

液晶画面を見ながら撮影できます。
静止画を撮影するとき…デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「📷」または「P」にする。
動画を撮影するとき…デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「🎞」にする。
動画撮影時、音声を記録することはできません。
場面に合わせて撮影をするとき…デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「ISO」、「👤」、「🌙」、「🌙」、「🖼」、「🏃」、または「🎨」にし、コントロールボタンで設定する。

詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

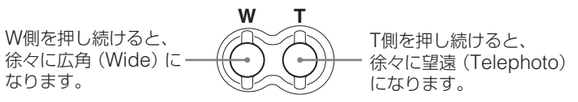
3 シャッターボタンを押す。



ご注意

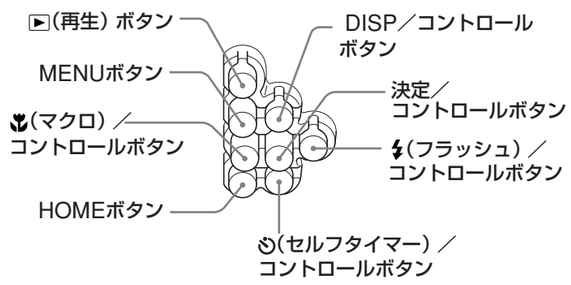
- デジタルスチルカメラを収納した状態で、モードダイヤルをむやみに回さないでください。故障の原因になります。
- 水中では水の屈折率が大きいため、陸上より約1/4距離が近くに見えます。したがって水中撮影でフォーカスプリセットを使用する場合、設定した距離と被写体までの実際の距離は異なります。
- マリンパックでフラッシュ撮影を行なう場合、状況によっては撮影距離が短くなることがあります。その際は、水中ビデオライト HVL-ML20M（別売）の使用をおすすめします。

ズーム機能を使う



さまざまな機能を使う／設定をする

マリンパックに収納したデジタルスチルカメラのさまざまな機能を使うことができます。



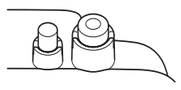
ご注意

撮影一時停止状態が一定時間続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

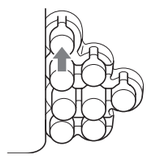
コントロールボタンを使って画像を見る

デジタルスチルカメラのコントロールボタンを使って、液晶画面で撮影した画像を見ることができます。このとき音声は聞こえません。

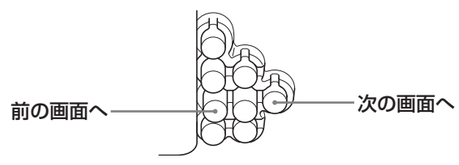
1 電源を入れる。



2「▶」（再生）ボタンを押す。



3 コントロールボタンを操作して、再生したい画像を選ぶ。

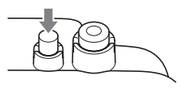


詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

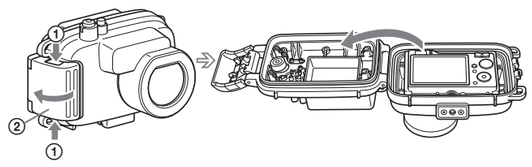
デジタルスチルカメラを取りはずす

1 電源を切る。

デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままではデジタルスチルカメラのレンズを傷つけることがあります。



2 上下のOPENボタンを同時に押しながら①、バックルを矢印②の方向にはずし、マリンパックのボディーを開く。



3 デジタルスチルカメラを取り出す。

長時間ご使用になったときは、デジタルスチルカメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、デジタルスチルカメラを取り出してください。

デジタルスチルカメラを取り出すとき、落とさないようにご注意ください。

ご注意

マリンパックを開ける前に、マリンパックを水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴を拭き取ってください。マリンパックを開けたときに、体や毛髪、ウエットスーツの袖口などからの水滴がデジタルスチルカメラにかからないようにご注意ください。

ダイビングの前に

- 水中撮影をする前に、水深1m程度のところで正常に作動するか、また水漏れがないか確認してから潜水を始めてください。
- デジタルスチルカメラは、ダイビングの前にあらかじめマリンパックに取り付け、船上や海岸などでのマリンパックの開閉は、できるだけ避けてください。デジタルスチルカメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ないところで行ってください。
- ご使用の前に、マリンパックの前後のボディーの間に異物のはさみ、ゴミがないかを確認してください。
- ご使用の前に、必ず撮影可能枚数、バッテリーの残量をご確認ください。
- 水中で撮影すると、被写体の色が青みがかって見えることがあります。このような場合は、色の補正にカラーフィルターキットVF-MP5K*（別売）をお使いになることをおすすめします。
  * VF-MP5Kに付属の減光フィルターは使用できません。

撮影に適した時間

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。

太陽の光が届きにくい場所での撮影や夜間の撮影には、水中ビデオライト HVL-ML20M（別売）をお使いください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

□マリンパック内部に水滴がつく
→Oリングに傷やヒビが入っている場合には、新しいものと交換する。
→Oリングを正しく装着する。
→バックルをカチッとロックされるまで締める。
□撮影ができない
→バッテリーを充分に充電する。
→“メモリースティック デュオ”の残量がない場合、別の“メモリースティック デュオ”を入れる。または不要なデータを消す。
→“メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを戻す。または別の“メモリースティック デュオ”を入れる。

主な仕様

材質
プラスチック（PC、ABS）、ガラス

防水構造
Oリング、バックル

耐圧
水深40 mまで

外部より操作可能なスイッチ
POWER（パワー）、MODE（モード）、シャッター、ズーム（W／T）、フラッシュ、マクロ、セルフタイマー、DISP、MENU、コントロール、HOME、再生

外形寸法（最大突起部を除く）
約146×89×81 mm（幅／高さ／奥行き）

質量
約440 g（本体のみ）

同梱物
マリンパック（1）
ハンドストラップ（1）
液晶フード（1）
グリス（1）
Oリング（1）
スペーサー（1）
モードダイヤルキャップA（1）
モードダイヤルキャップB（1）
印刷物一式

別売アクセサリー
カラーフィルターキット：VF-MP5K
アームキット：VCT-MP1K
水中ビデオライト：HVL-ML20M
（アームキットVCT-MP1K、“インフォリチウム”（Mシリーズ）バッテリー、（バッテリーチャージャー）との併用が必要です。）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。